

# 春のしょくぶつ



ホトケノザ

兵庫県立有馬富士公園で3月～5月初旬までに開花が見られる植物を紹介しています。  
(一部に植栽された植物を含んでいます)

文中の、見られる場所の番号は、公園地図(トップページからダウンロードできます)に示された番号におおよそ対応しています。また日付は2023年の撮影日です。各植物の開花時期は年によって変動しますので、日付の日に見られないことがあります。



オオイヌノフグリ

見られる場所：パークセンター前・1・34・39

畑や空地、道端によくあるオオバコ科の草本。花は太陽の光が当たるとよく開く。花弁は大きさの違う4枚からなり、きれいな青色で、「星の瞳」という別名がある。ヨーロッパ原産。 3月10日



ヒメオドリコソウ

見られる場所：パークセンター前・1・39・41

道端、空地、畑などに生えるシソ科の草本。対生についた葉は上部では暗紫色をおびる。上部の葉のわきから外側に向かって赤紫色の唇形花を咲かせる。ヨーロッパ原産。 3月10日



ハコベ (コハコベ)

見られる場所：パークセンター前・1

畑、道端、空地などで地面をはうように広がるナデシコ科の草本。白い花弁は2つに深く切れ込み、10弁に見える。茎が紫がかったものをコハコベという。春の七草のひとつ。 3月10日





### ナズナ

見られる場所：パークセンター前・1

畑、道端、空地などに生えるナデシコ科の草本。白い花弁は200つに深く切れ込み、10弁に見える。実が三味線のばちに似ていることからペンペン草とも呼ばれる。春の七草のひとつ。 3月10日



### ヒサカキ

やや乾いた山地の林にはえるモッコク科の小高木。ふつうは雄花と雌花が別々の木につく。花にはガスのような独特の臭気がある。 3月17日



### オランダミミナグサ

見られる場所：パークセンター前・1・39

畑、荒地、道端などにふつうに生えるナデシコ科の草本。葉は毛が多く、ふわふわしている。花弁は先が2裂で、閉じていることが多く、がく片よりやや長く突き出る。ヨーロッパ原産。 3月10日



### アセビ

見られる場所：林の生態園・23・33・56

やや乾いた山地の林に生えるツツジ科の低木。花色は白が基本だが、薄紅色のものもある。有毒植物で、鹿などの野生動物がたべないので、林内で繁茂することがある。 3月31日





### イロハモミジ

見られる場所：31・林の生態園・9・55

山野に生えるムクロジ科カエデ属の落葉高木。秋の紅葉の代表とされ、寺社、庭園などによく植えられる。早春の若葉の芽生えと同時に、枝先に暗紫色の花を下垂してつける。 3月31日



### ウリカエデ

見られる場所：37・林の生態園・24・26

丘陵地の林に生えるムクロジ科カエデ属の落葉小高木。樹皮は緑色に黒い縦の筋が入る。カエデの仲間だが、葉はほとんど裂けずモミジ葉にならない。 4月1日



### クロモジ

見られる場所：9・34・82

低山の林内に生えるクスノキ科の落葉低木。雌雄異株。枝は暗緑色で黒いまだら模様がある。枝・葉とも強い芳香がある。枝は和菓子の高級楊枝の材料に用いられる。 4月1日



### コバノミツバツツジ

見られる場所：林の生態園・2・3・27

日当たりのよい丘陵地に生えるツツジ科の落葉低木。関西では最もよく見られるミツバツツジの仲間。ふつう葉に先立って開花するが、葉と同時に咲くものもある。 4月6日





### タンポポの仲間

見られる場所:38・34・10・15・21・47

公園内にはセイヨウタンポポとカンサイタンポポがある。セイヨウは花の裏側の緑色の部分(総苞片)が反り返り、カンサイは反り返らないので区別できる。 4月11日



### スミレの仲間

見られる場所:37・34・24・21

有馬富士公園に自生するスミレの仲間は、スミレ、アリアケスミレ、シハイスミレ、タチツボスミレ、ツボスミレなどがある。花の色や葉の形、茎があるかないか、などから区別できる。 4月11日



### コナラ

見られる場所:1・39・ガーデン階段・林の生態園・2・26・10

山野の雑木林を構成する代表的なブナ科の落葉高木。春、若葉が広がると同時に黄褐色の花が咲く。雄花は尾状に垂れ下がり、雌花(秋にどんぐりになる)は上部の葉腋につく。 4月11日



### アケビの仲間

見られる場所:38・25・44

つる性の落葉低木。公園内には葉が5枚に分かれたアケビと3枚のミツバアケビがあり、花の色がちがう。秋には大きな実がなり、中の白い果肉が甘くて食べられる。 4月12日





**ミヤマガマズミ**

見られる場所：築山広場・37

山地の林内に生える落葉低木。小さな白い花が多数ドーム状に集まってつき、清楚で美しい。秋に鮮やかな赤色で大粒の実をつける。似た仲間にガマズミ、コバノガマズミがある。 4月19日



**ウワミズザクラ**

見られる場所：9・31・37

山野に自生するバラ科の落葉高木。葉が出たあと、今年の枝先に多数の小さな白い花が長さ10cm前後の穂状に集まって咲き、雄しべが長く突き出てブラシのように見える。 4月19日



**カラスノエンドウ(ヤハズエンドウ)**

見られる場所：1・38・39・40

野原や道端、土手などいたるところに生えるマメ科の草本。葉は8~16枚が羽状についた複葉で、先は巻きひげになる。小型のスズメノエンドウとしばしば混生する。地中海沿岸原産。 4月20日



**サギゴケ(ムラサキサギゴケ)**

見られる場所：28

日当たりのよい湿った草地や田の畦などに、這うように広がって生える草本。花が白色のものがあり鷺の姿に見立てて「サギ」、地面に広がるさまを「コケ」として名がついた。 4月20日





ハルジオン

見られる場所：1・38・37

道端や空地にはえるキク科の草本。ヒメジョオンとよく似ているが、ハルジオンの方が花びらの幅が細く、蕾が下向きに垂れ、茎の中に空洞があること等で区別できる。北アメリカ原産。4月28日



キュウリグサ

見られる場所：1・38・40

道端や空き地に生えるムラサキ科の草本。花は径2～3mmと、道端で咲いていても見落とすほど小さいが、淡青紫色のかわいい花。名は、葉をもむとキュウリの匂いがすることから。5月1日



フジ

見られる場所：35・44

日本固有のマメ科のつる性落葉樹で、低山地や平地の林縁、林内、崖などにみられる。花序は長く垂れさがり、1mにも伸びることがある。公園や庭園に観賞用の藤棚がつくられる。4月25日



コメツブツメクサ

キッピー山の生き物図鑑 春のしょくぶつ

制作・撮影 高橋 晃

発行 三田市有馬富士自然学習センター 2024年3月28日

〒669-1313 三田市福島 1091-2